

『主役』 作：ポチ子

『主役』 作：ポチ子

私の人生の主役はあの子で、

私では無い。

それは、

いつ頃気づいたんだっけ。

世界は、

私を中心に回っていない。

私の人生は世界の一部だ。

自分が主役だと、

勘違いできたのは、

『主役』 作：ポチ子

心が無垢だったからではなく、

無知だったからだ。

世界には主役がいる。

あなたの人生にも、

私の人生にも、

その子が主役として存在する。

私の人生にちよつとしか登場しないくせに、

全てを奪っていくし、

大抵、ギャラもいい。

— 終わり —